

○ロボットトラクタが効果を最大限発揮するため、枕地を拡大することで、心土破碎・耕起作業での2台協調作業及び収穫作業（有人自動走行）の巡回効率を向上し、労働投入量を削減。

経営上の課題

- ・ 水稻の売上が経営に占める割合が高く、大きく左右される現状にあり、水稻割合を引き下げするため、かぼちゃなどの園芸品目の拡大に取り組んでいる。

定植までの春作業および収穫作業の増加に対応するため、スマート農業技術を活用し、効率化を図る必要。

申請者：

株式会社ユニティファーム（北海道月形町）

対象品目：

かぼちゃ

スマート農業技術：

ロボットトラクタ

新たな生産方式：

枕地の拡大

活用予定の支援措置：

補助事業の優遇措置

計画の概要

スマート農業技術

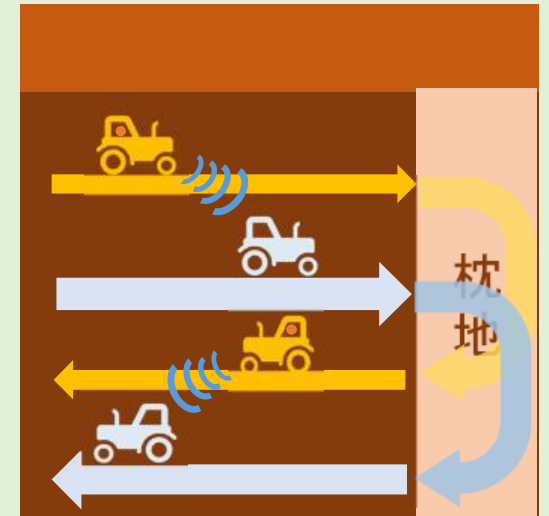
ロボットトラクタ



心土破碎・耕起作業での無人・2台協調作業による労働投入量削減および収穫作業での有人自動走行による高精度・効率化

新たな生産方式

枕地の拡大



ロボットトラクタの巡回に必要な枕地を確保し、作業を効率化